

セキュリティソフトの誤認識について

最近のセキュリティソフトは、未知のウイルスの検出力が強化されている反面、必要なファイルを誤認識するケースが増えております。弊社では、更新プログラムの出荷前には必ず複数のセキュリティソフトを用いて誤認識の問題が無いことを確認しておりますが、出荷後のウイルスパターン定義ファイルの更新などの理由で、検査時とは異なる結果になることもございます。

ひとたびセキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）をしておくという方法があります。

下記のFAQには、主だったセキュリティソフトの除外設定および誤認識の回避方法を記載しております。お客様のパソコンにインストールされているセキュリティソフトに関しての記載がありましたら、不具合解消の参考にしていただければ幸いです。

記載されている対処方法は、弊社にて不具合が回避されたことを確認できた一例としてとらえていただき、問題解決を100%保障するものではないことをあらかじめご了承ください。また、設定の変更に関してはあくまでも自己責任において対応していただきますようお願いいたします。なんらかの不具合が発生しても当社では責任を負いかねますので、ご理解の上ご対応のほどよろしくお願いいたします。

次のFAQをご確認ください

- ① [セキュリティソフトに誤認識されないようにする方法](#)
- ② [セキュリティソフトを除外設定するタイミング](#)
- ③ [セキュリティソフトに誤認識されてしまった場合の症状](#)
- ④ [除外設定後に必要な処理について](#)
- ⑤ [除外設定をしても症状が改善しない場合](#)
- ⑥ [セキュリティソフトの種類の確認方法](#) ※一覧表が記載されています